

## 平成 29 年度

# College of Pharmacy, Western University of Health Sciences, USA

## との国際交流

李 辰竜、梅村雅之  
薬学部国際交流委員会

本学薬学部では、グローバル時代の新たな要請に応じ、視野の広い未来を開拓する医療薬学専門人の養成の一環として国際交流協定校を中心に国際交流事業を推進している。その一環として今年度（平成 29 年度）にアメリカの Western University of Health Sciences, College of Pharmacy（以下、ウェスタン大学薬学部）と新たに国際交流協定を締結し、第 1 回のアメリカ研修を以下のように実施して。



### 1. 概要

平成 30 年 2 月 12 日（月）から 2 月 26 日（月）にかけて、アメリカカリフォルニア州ポモナ市所在のウェスタン大学薬学部を中心としたウェスタン大学の Patient Care



Center（PCC、患者ケアセンター）、連携病院薬剤部および地域の CVS 薬局の研修を行なった。研修内容は、ウェスタン大学薬学部での様々な講義および実習体験、PCC、病院薬剤部並びに CVS 薬局の見学などで構成された。また、現地学生との pen pal システムによる事前交流およびメンター制度を通し

た積極的な学生間交流並びに歓迎送会も盛大に執り行われた。さらに、週末を利用して見学地近くの大手の遊園地を訪れ、研修中の疲労から元気を回復できるリフレッシュの時間も用いた。

### 2. 参加者

今年度の参加学生は、5 年次生 3 名、4 年次生 8 名、3 年次生 3 名、2 年次生 2 名の計 16 名であり、本学から 2 名の教員とウェスタン大学薬学部の 1 名の教員の引率およびコーディネーションで様々なプログラムを実施した。



### 3. 事前準備

本学学生の研修に出発する前に、事前講習会および学習会を行なった。ウェスタン大学

薬学部から研修期間中の講義および視察内容が事前に伝われ、一部内容に関する事前学習を行なった。日本およびアメリカそれぞれの高血圧のガイドライン、心肺蘇生法およびOTC薬品に関する情報を学習した。また、日本文化を英語で紹介できるようなスライドなども準備した。これらの試みを通して、現地での学習効果などをさらに深めることができた。

#### 4. 研修内容

研修期間中の午前中には、ウェスタン大学薬学部での薬学関連講義が行われた。アメリカの保険システム、SOAP (subjective、objective、assessment、and plan) ノート作成要領、EBM (Evidence Based Medicine) およびアメリカでの薬剤師の役割 (地域薬局、



病院院内・外来処方、海外渡航時の健康相談並びに予防接種) などに関する講義を受講した。また、一部の講義ではチームプレゼンテーションなども行い、放課後のグループ討議や英語での発表による異文化の教育システムを体験した。







午後には、3 グループに分けてウェスタン大学薬学部以外の医療施設の見学を主に行なった。訪問施設は、ウェスタン大学の PCC、Citrus Valley Health 病院、Casa Colina 病院および CVS 薬局であり、アメリカの医療施設の特徴のみならず、日本の病院並びに薬局との類似点や相違点などを理解した。



## 5. その他

研修開始の約 1 週間前より、ウェスタン大学薬学部学生と本学の研修参加学生とのメールのやり取りを行う pen pal システムを導入し、学生同士での事前打ち合わせなどを通して、現地での両国学生間の円滑な意思疎通を図った。研修期間中にも、学生同士で食事会を行ったり、様々な文化体験に同行したり、学生間の良い交わりができた。なお、ウェス



タン大学薬学部学内の学生自治体の行事などにも参加するとともに、お互いの国々の特有の文化を紹介する機会も設けられ、薬学分野の専門領域以外に様々な領域での交流が行われた。

## 6. 所感

今回のウェスタン大学薬学部の研修を通して、本学参加学生は、アメリカの薬学部の様々な教育施設の見学や英語での講義などを直接経験することができた。また、アメリカの医療現場を自ら体験し、異国での薬剤師の役割も現地の教員および薬剤師から学ぶことができた。とくに、今回の参加学生は、2 年次生から 5 年次生まで幅広く、すでに日本での実務実習などを経験した学生は、両国間の医療システムを様々な観点から比較することができ、まだ実務実習を経験していない学生にとっては、これからの学習への向上性をもたらす機会になったと思われる。今回の研修を通して、参加学部生にとって、薬学の学問を学ぶだけではなく、医療人として今後の飛躍のための動機付けや世界での活躍も期待できるきっかけの 1 つになったと思われる。最後に、本研修の通訳や企画に大きな役割を果たしてくれたウェスタン大学薬学部の小崎先生に深甚なる謝意を表したい。

第1回アメリカウェスタン大学薬学部研修参加者

	学年	学籍番号	所属講座	氏名
1	5年生	13A007	薬物治療学	五十川 晃太郎
2	5年生	13A133	薬化学	眞鍋 圭
3	5年生	13A134	薬用資源学	水野 広基
4	4年生	14A010	生体機能化学	池田 佳穂
5	4年生	14A031	生体機能化学	大成 遥
6	4年生	14A041	薬効解析学	尾添 将之
7	4年生	14A053	臨床薬物動態学	神谷 侑未
8	4年生	14A065	応用薬理学	酒井 美紅
9	4年生	14A118	薬剤学	平松 梨緒香
10	4年生	14A142	薬効解析学	村上 茉奈美
11	4年生	14A155	臨床薬物動態学	渡邊 あかり
12	3年生	14A013		石原 歩実
13	3年生	15A080		鈴木 里菜
14	3年生	15A087		立松 阿子
15	2年生	16A089		田川 佳於里
16	2年生	16A098		千葉 有紀子

引率：李 辰竜、梅村雅之（薬学部国際交流委員会）

第1回アメリカウェスタン大学薬学部研修プログラム

Date	Topics
2/13 Tue	Welcome and Program Orientation
	Health Care System, Team Assignment
2/14 Wed	Team Presentation
	SOAP note, Team Assignment
2/15 Thu	Team Presentation, EBM, Cultural Competence
	Field Tour
2/16 Fri	Team Presentation
	Hospital Pharmacists, Pharmacy Protocol
2/17 & 18	Excursion
2/19 Mon	CVS Visiting
2/20 Tue	Team Presentation, Pharmacy Education, Pharmaco-economics
	Field Tour
2/21 Wed	Team Presentation, Communication Skills
	Field Tour
2/22 Thu	Team Presentation
	Community Pharmacist, Ambulatory Pharmacist
2/23 Fri	Final Presentation
	Farewell Party and Certificate Presentation